



浜風

千葉市立生浜西小学校
学校便り NO. 1
令和6年4月9日

— 豊かな心をもち 考えて行動する児童の育成 —
学校ホームページURL <https://www.city.chiba.jp/school/es/055/index.html>

自分の可能性を信じ、前に進むために

校長 秋葉 純

希望に満ちあふれる新年度です。5日（金）の始業式では、1学年ずつ進級をした2～6年生が大変立派な態度で、心新しく新年度を迎えました。そして、9日（火）にはかわいい1年生が入学し、全校児童443名、教職員42名で、令和6年度が本格的にスタートしました。

さて、本年度は私が本校に赴任して2年目です。昨年度の経営を振り返って改善を目指すという視点から、重点目標を「『絆（きずな）』を大切に、よい子をめざそう」に変更しました。学校教育目標は、昨年度同様「豊かな心をもち 考えて行動する児童の育成」です。

何物にも代えがたい「絆」は、お互いが相手を尊重することによって生まれるものです。子供一人一人が豊かな心をもち、相手のことを考えた言動ができるようにしたいという願いを込めました。

学校において考えられる「絆」の形態としては、「教職員と児童の絆」「児童同士の絆」「児童とご家族との絆」「児童と地域の皆様との絆」などがあります。また、子供たちには直接関わりがなくても、学校運営上の重点として「教職員とご家庭・地域との絆」も欠かすことはできません。

そこで、教職員と保護者の皆様の絆を重視して、今年度は4月の懇談会を土曜日に設定しました。昨年度、多くの保護者の方から、「運動会まで先生の顔も知らなかった。」、「平日の懇談会だとなかなか行くことができない。」というような声をいただいたことによるものです。懇談会に参加してくださる保護者の数が少ないことも、本校の課題のひとつですので、20日（土）の懇談会には多くの皆様にご来校いただき、担任との「絆」を深めるための第1歩にしたいと考えております。

また、本校の子供たちが、着実に様々な「絆」を実感していくことによって、優しく強い心を持ち、自分は「よい子」なんだと自覚することができるようにしたいと考えております。そのための、めざす子供の姿として、「考える子（知）」「思いやりのある子（徳）」「たくましい子（体）」の3本の柱を立てました。「絆」を大切にしながら、自らの夢（なりたい自分の姿）に向かってチャレンジする心と、夢をかなえる力を育てていけるよう支援してまいります。

他者を尊重すると共に多様性を受け入れ、「絆」を大切に「よい子」をめざして成長する子供の育成を重点として、子供たちが自己肯定感を高め、自ら進んで取り組み、最後まで粘り強く行動できるような指導・支援の工夫・改善に努めます。

子供たちにとって最も身近な「社会」または「世の中」である学校や学級が、居心地がよくて平和な場所であることは、誰もが切実に願っていることです。本校の子供たちが「わくわく」とした気持ちで登校し、「いきいき」と活動し、そして「にこにこ」と笑顔で下校していくことをめざして、全職員が「チーム生浜西小」として一丸となって努力してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



職員紹介

	【校長】秋葉 純	【教頭】川那子 友宏	【教務主任】赤岡 理沙
はまのこ	【1組】小笠原 亮	【2組】尾棹 誌織	【3組】三浦 汐織
1年	【1組】壽 由香	【2組】小野寺 紘子	
2年	【1組】中村 隆志	【2組】清水 可帆	
3年	【1組】林 実希子	【2組】高木 菜緒（原田 遥）	【3組】中畑 翼
4年	【1組】宮本 政之	【2組】槇本 晃	
5年	【1組】橋本 光太郎	【2組】高橋 春菜	【3組】小林 孝一
6年	【1組】佐藤 誠	【2組】柴田 彩妃	
【音楽専科】加瀬 祥子 【家庭科専科】安齊 桃子 【初任者指導】武田 潮子 【養護教諭】浅田 恵子 【主任栄養士】佐々木 梨乃 【主任主事】井上 亜紀子 【技能主任】加藤 聡一郎 【正規調理員】鈴木 美咲・泉水 和子・岡田 千恵 【図書館指導員】中西 早緒里 【教員業務支援員】小菅 美也子 【事務補助員】田口 修一 【スクールカウンセラー】増野 幸子 【学校支援員】平野 和子 【ステップルーム】雨宮 良一 【非常勤調理員】菅谷 ふみ子・平岡 恵美・三浦 育美・塚崎 宜子・仲村 桃子			